

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	障害児保育Ⅱ				
担当者氏名	近藤 真理子				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-4 発達の深い理解 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

- 障害児保育Ⅰの障がい児に関する基礎的な知識・理解をもとに障がい児保育での具体的な支援内容・方法を学習する。
- 障がい児や配慮を要する子どもの家庭への援助や関係機関との連携を個別の支援計画等をもとに具体的に学習する。
- 討議や発表、実技を通じ障がい児保育の関心意欲を持つ。
- 障がい児保育に関する論文や時事的話題に触れ、自ら考え調べる(研究する)初歩的な姿勢を持つ。

《授業の到達目標》

- 障がい児保育の実際を様々な側面から捉え、具体的な援助内容や方法等について理解する。
- 障がい児保育における関係機関との連携の重要性とその具体的な援助方法と内容を理解する。
- 障がい児保育に関わる話題(時事的話題や論文)や討議、実技を通じて、自ら考え調べる(研究する)姿勢を持つ。
- 積極的な参加を期待する。

《成績評価の方法》

- 試験 : 40%
- 授業への参加・発表 : 30%
- グループワークへの参加・意欲 : 20%
- 提出物 : 20%

《テキスト》

尾野明美ら著『アクティブラーニングから読み解く障害児保育』萌文書林 978-4-89347-245-8

《参考図書》

近藤真理子ら編『小中学校教育のための特別支援教育入門』ミネルヴァ書房

《授業時間外学習》

放課後等ディサービスや発達支援センター、支援学級学校の見学、障害児、者の団体のボランティアなど積極的なかかわりをしてください。

《備考(教員経験の有無)》

放課後等ディサービスでの支援指導  
通信制高校サポート校での不登校、不登校経験者、発達障害のある生徒支援

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	シラバスの説明(授業の概要、授業の到達目標、履修上の連絡や注意等)と障がい児保育に関する話題について考える。
2	0歳児の発達とケース検討	テキストに添いながら、発達の概念についての理解を目指す(1章を読んでおくこと)
3	1歳の発達とケース検討	テキストに添いながら、発達の概念についての理解を対応できるように2章を読んでおくこと)~p60
4	ケース検討	ケース検討と 保護者との面談について カウンセリング
5	2歳児の発達とケース	テキストに添いながら、発達の概念についての理解を対応できるように2章を読んでおくこと
6	2歳児の発達とケース 支援グッズづくり	支援グッズづくり①
7	3歳児の発達とケース	テキストに添いながら、発達の概念についての理解を対応できるように
8	3歳児の発達とケース②	ケース検討でふかめる
9	あそびの実際	あそびの実際
10	4歳の発達とケース	テキストに添いながら、発達の概念についての理解を対応できるように
11	4歳の発達とケース②	ケース検討で深める。
12	あそびの実際	遊びのなかでの支援
13	5歳の発達とケース	テキストに添いながら、発達の概念についての理解を対応できるように
14	6歳の発達とケース	ケース検討と小学校への接続
15	まとめ	まとめ